



2021年11月12日

各位

会社名 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 兼グループCEO 小野 有理
(コード番号 6699 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 CFO 徳原 英真
(TEL 06-6302-8211)

特別利益及び特別損失の計上並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第2四半期連結累計期間において下記の通り特別利益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また直近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、2021年8月12日に公表しました2022年3月期通期の連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社の連結子会社であるTabuchi Electric Company of America, Ltd.の旧事務所に係るリース契約及び転貸リース契約の解約に伴う解約益としてリース債務解約益101百万円を計上しました。

2. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である田淵電子工業株式会社の退職給付水準改定に係る費用として過去勤務費用償却額67百万円を計上し、また当社の連結子会社である東莞田淵電機有限公司の清算に係る費用として子会社整理損59百万円を計上しました。

3. 連結業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 84,000	百万円 2,800	百万円 2,600	百万円 2,000	円 銭 289.24
今回発表予想 (B)	77,000	1,100	900	350	49.39
増減額 (B-A)	△ 7,000	△ 1,700	△ 1,700	△ 1,650	—
増減率 (%)	△ 8.3	△ 60.7	△ 65.4	△ 82.5	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	70,639	2,247	2,470	95	13.90

(3)修正の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、自動車機器事業、エネルギーソリューション事業及び電子機器事業で電子部品の逼迫や銅価格を主とする素材価格の高騰が生じたものの、これらは前回発表時点に一定程度織り込んでおりましたため、前回発表予想からの乖離は小幅にとどまりました。

一方、通期の連結業績予想につきましては、第3四半期会計期間には、特に、半導体の絶対的な不足、電子部品の供給制約が想定以上に進むため、各事業部は生産調整を行う計画としております。

第4四半期以降に漸次材料不足の解消が見込まれると望み、生産及び販売を挽回すべく準備しておりますが、前回発表予想の水準には至らないことが予想されるため、通期連結業績予想を下方修正いたします。

以 上